



600年の歴史を刻む曹洞宗の古刹

秋葉総本殿 可睡齋

徳川家康公と深いゆかりがあり、火防の信仰の中心拠点の秋葉総本殿としても知られています。四季折々の花が楽しめることから、別名「花の寺」としても名高い禅寺です。元旦から3月末日まで開催される袋井の春の風物詩「可睡齋ひなまつり」は、国内最大級のひな壇におひな様がずらりと飾られ、その光景は圧巻です。



坐禅体験

東海随一の禅の道場であり、坐禅の体験ができます。坐禅堂で何も考えずにただ座り、聞こえるのは呼吸だけ。やがて五感が研ぎ澄まされるような感覚に。静寂の中、自分と向き合う時間です。



天井絵

国の文化財に指定されている瑞龍閣。大広間には花や鳥等が描かれた大襖や、華やかな格天井など絢爛豪華な迎賓施設。ときを忘れてしまうほど優美な空間が広がります。



精進料理

動物性の食材は一切使用せず、旬の野菜を中心に命を最大限に活かした精進料理。旬の食材を取り入れるため、季節ごとの献立が楽しめます。



火祭り

火防信仰である秋葉信仰の由緒あるまつり。約1300年の伝統があり、毎年12月15日・16日に執り行われます。始まりは午後3時。夜赤く炎が立ちのぼると、みな無病息災や心願成就を願います。



トイレの仏様

昭和12年に完成した男女兼用の水洗トイレ・大東司。中央には迫力のある鳥窠沙摩明王が立ち、私たちを見守っています。禅宗では東司の仏様と祀られ、まさにトイレの神様ならぬ仏様です。

